

第28回 TAMA とことん 討論会

実施報告

2021年3月6日(土)、聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター6階のアウラホールに設置した特設スタジオにて、『“コロナ”とごみ～変わる私たちのライフスタイル～』をテーマに第28回TAMAとことん討論会をオンライン開催しました。

前半は、多摩地域の市民を対象に募集した作文「私と『コロナ』とごみ」(共催 エコにこセンター)の優秀賞等受賞作品の紹介と多摩地域市町村を対象に調査した「コロナ禍におけるごみの実態」の集計結果報告に基づく考察を発表しました。

後半は、2人の講師の方に「回収された資源の今を知る」「古着はいずこへ」をそれぞれお話いただきました。TAMAとことん討論会はさまざまな立場の人たちが会場に集い、ごみ問題解決に向けての意見交換や情報交換をする場として継続してきました。しかし、気軽にインターネットを使うことのできる社会へと変化している中で、オンライン開催をすることのメリットも多く、新たな広がりを感じることもできる討論会でもありました。

【主催】
第28回TAMAとことん討論会
実行委員会
(NPO法人東京・多摩リサイクル市民
連邦、(公財)東京市町村自治調査会)

プログラム (敬称略)

- **主催者あいさつ**
小石 恵子 (第28回TAMAとことん討論会実行委員長)
(特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦代表理事)
- **来賓あいさつ (代読)**
阿部 裕行 (多摩市長)
- **作文優秀作品の発表**
- **考察 (下記参照)**
「作文および調査結果から考える新しいライフスタイルとは」
江尻 京子 (特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦事務局長)
- **講演 1**
回収された資源の今を知る
松本 貞行 (東京都資源回収事業協同組合理事長)
- **講演 2**
古着はいずこへ
内田 長 (ナカノ株式会社リサイクル部)
- **コメンテーター**
山本 耕平 (株式会社ダイナックス都市環境研究所会長)
- **閉会あいさつ**
國松 克彦 (公益財団法人東京市町村自治調査会事業部長)



▲主催者あいさつ



▲講演の様子

作文受賞者 (敬称略)

- **優秀賞** 大河原 聡介 (稲城市) 茂木 美帆 (八王子市)
- **エコにこセンター長賞** 松本 正樹 (日野市) 梅原 陽子 (国分寺市)
- **入選** 大野 佑介 (町田市) 鈴木 康平 (町田市) 大須賀 一夫 (羽村市)

考察

作文に多く書かれていたのが「〇〇を大切に」ということ。〇〇に入る言葉は様々です。また調査により昨年春から夏にかけてのごみ量がその1年前より増加している市町村が多いことがわかりました。人が動けばごみが発生します。大切なものが明確であれば行動スタイルが変わりごみの発生も変化します。コロナは大切にすることを考える、行動を変えるきっかけを作ったともいえます。ごみ量の増加は必要としないものを持ち続けていた結果でもあります。新しいライフスタイルとはなにかをごみの視点から考えることができるのではないのでしょうか。

多摩地域市町村対象の調査結果をまとめた冊子をご希望の方は下記あてにご住所とお名前を記載してメールで連絡してください。冊子は無料ですが、送料(受け取り後に切手を送ってください)はご負担ください。
送信先 tama.recycle@gmail.com



東京雑学大学

※受講の際は、必ずマスク着用のこと!

2021年7月講義案内

(受講料: 会員は無料・会員以外は1回につき500円)

日時	講義テーマ	教授	教場
7月1日(木) 14:00から	民法大改正による、 これからの遺産・相続について	中野 浩太郎 氏 (行政書士)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩3分)
7月8日(木) 14:00から	仏教とは何か?	岡部 守成 氏 (編集ライター)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
7月15日(木) 14:00から	東京にもあった「関ヶ原」の戦い —豊島一族と太田道灌—	葛城 明彦 氏 (日本史家・ノンフィクション作家)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
7月22日(木) 14:00から	日本の近代化と渋沢栄一	深谷 克己 氏 (早稲田大学名誉教授<日本近世史>)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

変更 本誌5月号(No.092)11ページでご案内した「東京雑学大学」教場を変更いたします。

6月17日(木) 教場 小金井市市民会館「萌え木ホール」(変更前)
(JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F) → コール田無(変更後)
(西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)

[問合せ先] TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原) 東京雑学大学ホームページ <http://t-zd.life.coccan.jp>

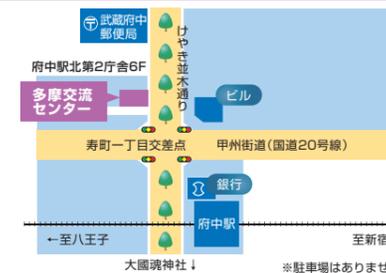
※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、7月講義を中止させていただく場合があります。詳しくは東京雑学大学までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F
TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127
ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>
(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 6月となりました。俳句の良し悪しを競うテレビ番組の影響を受け、6月の季語を調べたところ、「梅雨」や「入梅」といった雨に関係する言葉が並びます。また、「紫陽花」や「菖蒲」など梅雨の時期に咲く美しい花々も季語でした。多摩地域では日野市・高幡不動尊の紫陽花や東村山市・北山公園の菖蒲などが有名です。コロナ禍に加え梅雨空が続く沈みがちな時節柄、梅雨の晴れ間を利用し、「密」を避ける等感染防止対策を図りながら出かけてみたいと思います。
- 6月は「水無月」とも言います。梅雨時は雨で水が多いのに「水無」とは、と不思議に感じる方も多いと思います。こちら調べたところ、水無月の「無(な)」は、「の」にあたる連体助詞の「な」であるため、「水の月」という意味になるそうです。田んぼに水を引く重要な時期で、豊作を願う人々の思いがこの呼び名に表れているともいわれています。今年の豊年満作と併せてコロナ禍の早期収束を祈念します。
- この時期は、7月にかけて梅雨前線の活発化により集中豪雨が頻発しやすく、甚大な被害が頻発しています。昨年の「令和2年7月豪雨」では、全国各地で河川の氾濫や土砂災害が発生し、多くの犠牲者を出すなど大きな人的被害・物的被害をもたらしました。このような被害をもたらす集中豪雨は、特に2000年以降顕著となっており、その原因は、地球温暖化による気候変動といわれています。温暖化により、海面の温度が上昇し、大気に供給される水蒸気の量が増え豪雨が頻発しやすくなるためです。
- 気候変動の対策には「緩和策」と「適応策」の両輪を進めていくことが極めて重要となります。「緩和策」とは、温暖化の原因物質である温室効果ガスの排出量を削減することをいいます。身近で取組める「緩和策」としては、レジ袋の有料化に伴うマイバッグの持参、節電や節水、リサイクル・再生品の活用などがあります。一方、気候変動の影響により既に生じている、あるいは将来予測される被害の防止・軽減対策を「適応策」といい、熱中症対策や自然災害への対策などが挙げられます。コロナ禍では、自然災害発生時の避難所の確保に加え、避難所における新型コロナウイルス感染症感染拡大が予測されることから、感染防止策を含めた避難所対策が「適応策」として重要となります。
- スポーツの祭典「2020年東京オリンピック・パラリンピック大会」開幕まで2か月を切りました。コロナ禍の開催となり安全・安心な大会とするために万全な新型コロナウイルス感染症対策が講じられます。また、この大会中は、SDGs(持続可能な開発目標)の実現に向けて、再生可能エネルギーの利用や気候変動対策など、さまざまな取組が行われます。例えば、既存施設の使用による環境負荷の軽減や競技会場などにおける100%再生可能エネルギーの使用を目指す「緩和策」、暑さ対策として建物の屋上や壁面の緑化、遮熱性舗装の導入などの「適応策」です。アスリートの最高のパフォーマンスに期待するとともに、こうした気候変動対策にも興味を持って大会を楽しみたいと思います。(K. K)